

**BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン**

追加型投信／海外／債券

**為替変動リスクを管理する世界債券運用**

(1/7ページ)

**ファンドの運用状況****[基本情報]**

基準価額	7,424円
設定来分配金累計(税引前)	6,035円
基準価額(税引前分配金再投資)	15,240円
設定日	1998年10月30日
純資産総額	9.4億円
銘柄数	15
組入有価証券比率*	93.1%

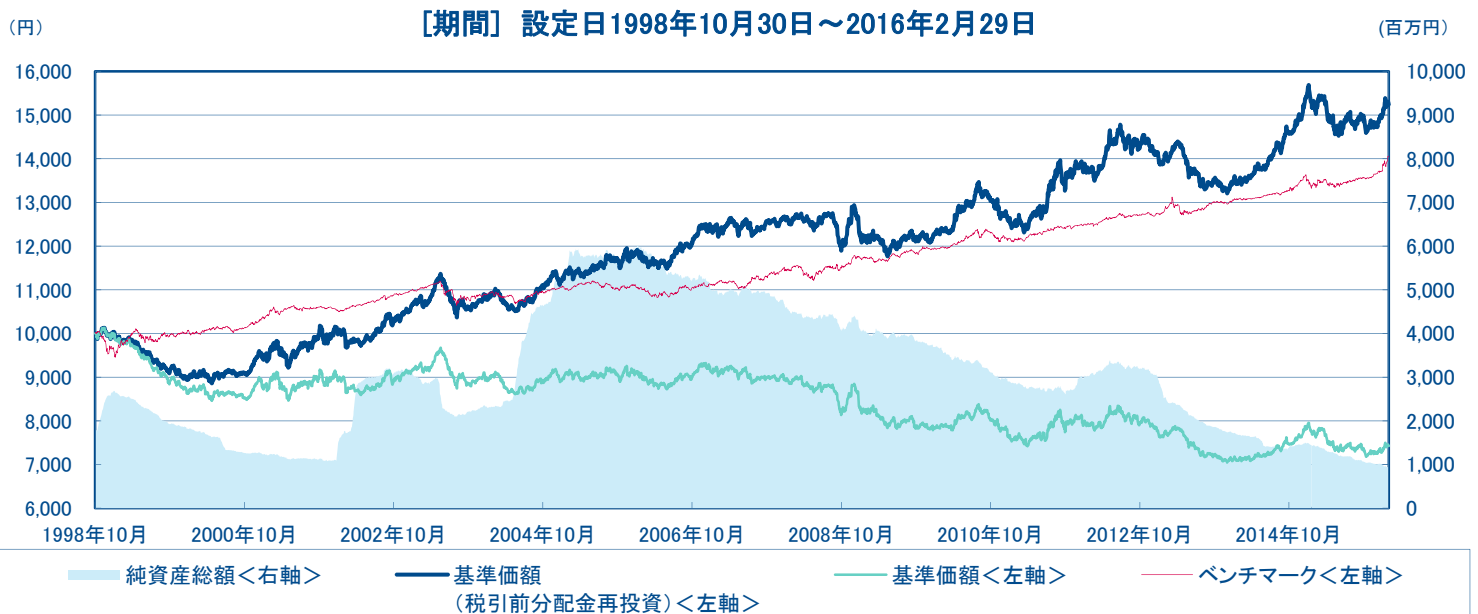
\*計理処理上、100%を超える場合があります。

**[分配金の推移(税引前、1口当たり)]**

1999年1月(第1期)	40円		
1999年4月(第2期)	-	2000年1月(第5期)	各75円
2000年4月(第6期)	-	2000年10月(第8期)	各80円
2001年1月(第9期)	-	2001年4月(第10期)	各90円
2001年7月(第11期)	-	2007年4月(第34期)	各85円
2007年7月(第35期)	-	2009年1月(第41期)	各100円
2009年4月(第42期)	-	2009年10月(第44期)	各120円
2010年1月(第45期)	-	2012年10月(第56期)	各100円
2013年1月(第57期)	-	2016年1月(第69期)	各75円
設定来累計			6,035円

**[基準価額(税引前分配金再投資)騰落率]**

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.6%	3.2%	2.6%	-0.4%	8.3%	52.4%
ベンチマーク	1.7%	3.6%	4.3%	4.6%	9.5%	40.6%

**設定来の基準価額の推移**

※基準価額は信託報酬控除後の1口当たりのものです。

※基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。基準価額(税引前分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。税引後の運用実績は、課税条件等によってご投資者ごとに異なります。

※運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配を行わない場合があります。

※過去の運用実績は、将来の運用成果等を約束するものではありません。当ファンドの投資価値および投資収益は下落することも、上昇することもあります。また、為替相場の変化により変動する場合もあり、元本を保証するものではありません。

※当ファンドのベンチマークは、NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)です。

※ベンチマークは、当ファンドの設定日(1998年10月30日)の前日の値を10,000円として指数化した値です。

設定・運用

**ベアリング投信投資顧問株式会社**

金融商品取引業者:

関東財務局長(金商)第396号

加入協会:

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの情報やマーケット情報などが  
ご覧いただけます。

&lt;ウェブサイト&gt;

<http://www.barings.com/jp/>

※お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)等をご覧ください。

※後述の「当ファンドにかかるリスク」及び「当資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

**BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン**

追加型投信／海外／債券

**為替変動リスクを管理する世界債券運用**

(2/7ページ)

**運用状況報告****ご注意いただきたい事項**

当ファンドは、2016年4月7日に信託の終了（繰上償還）を迎えますので、2016年3月1日以降、新規購入のお申込みの受付を中止させて頂いております。なお、換金のお申込みにつきましては、2016年4月4日まで受付けております。当ファンドを長らくご愛顧頂きまして誠にありがとうございました。

**▼ 市場概況**

**債券：** 米国、ドイツともに10年国債利回りは低下しました。年初からのリスクオフの流れが継続し、先進国国債への資金流入が続きました。月前半は、欧州の有力銀行の株価急落を契機に信用不安が台頭し、米欧の長期金利が低下しました。月後半も、G20後の各国の金融緩和と政策発動への期待、2月のユーロ圏の消費者物価指数下落などから、長期金利は低下余地を探る展開になりました。

**為替：** 月前半の欧州金融機関の信用懸念などを受けて、安全資産とされる円を買う動きが優勢となり、一時対米ドルで110円台まで円高米ドル安が進行しました。月末にかけてもリスク警戒姿勢から、主要通貨に対して円は底堅い展開となりました。

**▼ 投資行動**

**債券：** 商品市況の低迷、米欧のインフレ指標の落ち着きなどから主要国の長期金利は低位安定するとの見通しのもと、概ねこれまでのポートフォリオを維持しました。

**為替：** ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率を高位に保ち、為替変動リスクを抑えた運用を行いました。

**変動要因：** 基準価額（税引前分配金再投資）の騰落率は前月末比1.6%の上昇となりました。主に米ドル建債券、豪ドル建債券の価格上昇や保有債券の利息収入などがプラスに寄与し、債券要因はプラスとなりました。

**▼ 今後の見通し**

**債券：** 新興国経済の不振や商品市況低迷などの世界的なデフレ要因に加え、米利上げ観測の後退などから主要先進国の金利は引続き低下余地を探る展開が予想されます。また、米国国内の製造業の景況感悪化は、米連邦準備制度理事会（FRB）の年内の追加利上げの障害となり、欧州中央銀行（ECB）、日本銀行ともに一段の金融緩和の可能性を示唆していることなどから、日米欧ともに長短金利は上がりづらいものと考えます。

**為替：** 投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから、円が逃避先として買われる展開を想定します。

**▼ 今後の運用方針**

当ファンドは2016年4月7日に予定されている償還に備え、現金化を進めて参ります。

**基準価額変動額の要因分析（円）**

基準価額		月間変動額	債券要因	為替要因	その他要因	内収益分配金
2016年1月末日	2016年2月末日					
7,304	7,424	120	144	-13	-11	0

※上記の基準価額の変動要因の分析は、簡便法により試算した概算値であり、あくまでも、傾向を知るための目安としてご覧ください。いずれも1口当たり、小数点以下は四捨五入。また、その他要因には収益分配金や信託報酬などが含まれています。

**ファンドの状況** ※比率は全て対純資産総額。**【組入債券上位10銘柄】**

	銘柄	クーポン(%)	満期	格付	通貨	国名	比率(%)
1	米国国債	4.5	2036年2月15日	AAA	米ドル	アメリカ	20.8
2	米国国債	6.125	2027年11月15日	AAA	米ドル	アメリカ	17.6
3	欧州投資銀行債	5.625	2032年6月7日	AAA	英ポンド	国際機関	10.3
4	ニュージーランド国債	6	2021年5月15日	AAA	ニュージーランド・ドル	ニュージーランド	6.9
5	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6	2030年5月1日	AAA	豪ドル	オーストラリア	5.8
6	カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州政府債	9	2024年8月23日	AAA	カナダ・ドル	カナダ	4.8
7	カナダ・オンタリオ州政府債	9.5	2025年6月2日	AA	カナダ・ドル	カナダ	4.3
8	カナダ・オンタリオ州政府債	9.5	2022年7月13日	AA	カナダ・ドル	カナダ	3.9
9	カナダ・サスカチュワン州政府債	8.75	2025年5月30日	AAA	カナダ・ドル	カナダ	3.6
10	オーストラリア・西オーストラリア州理財公社債	7	2021年7月15日	AA+	豪ドル	オーストラリア	3.6

※格付は、原則として作成基準日現在のスタンダード・アンド・プアーズ社、ムーディーズ社及びフィッチ社の格付を利用し、各社の格付が異なる場合は、高位の格付を採用します。ただし、格付会社によっては全ての銘柄に格付を行わないことがあります。このため、発行体が同じであっても銘柄によっては格付が異なる場合があります。



# BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン

追加型投信／海外／債券

為替変動リスクを管理する世界債券運用

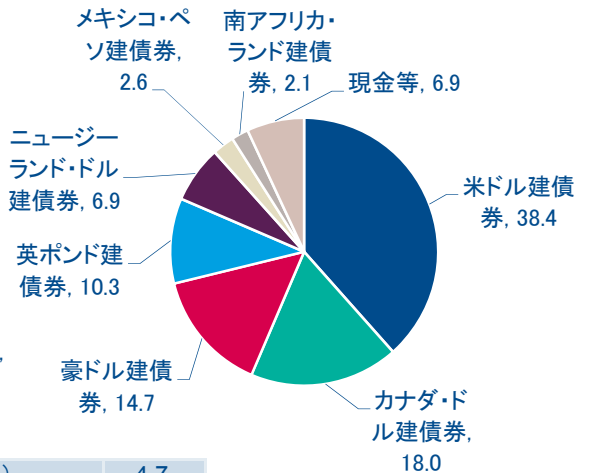
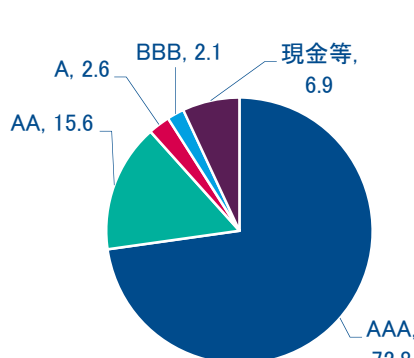
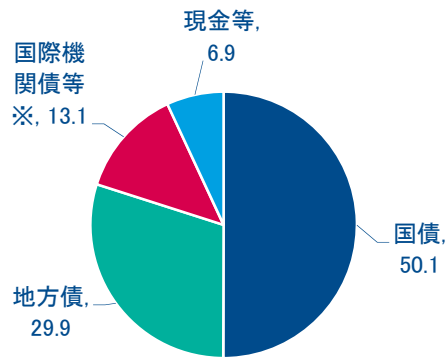
(3/7ページ)

ファンドの状況 ※比率は全て対純資産総額。計理処理上、合計が100%を超える場合があります。

【種類別構成比率(%)】

【格付分布(%)】

【債券通貨別構成比率(%)】



※国際機関債等には公社公団債が含まれる場合があります。

【ファンドの特性】

平均修正デュレーション	9.2	平均利回り(直利, %)	4.7
平均格付	AA+	平均利回り(終利, %)	2.5

※格付は、原則として作成基準日現在のスタンダード・アンド・プアーズ社、ムーディーズ社及びフィッチ社の格付によります。

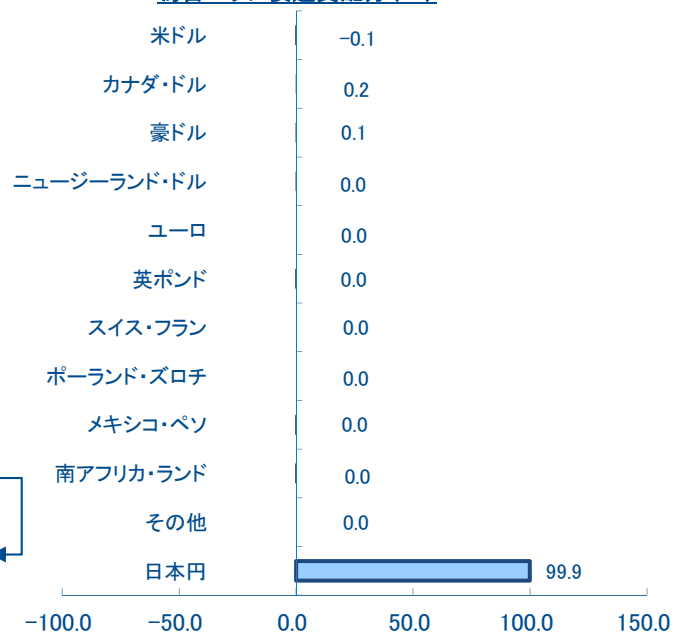
なお、各社の格付が異なる場合は、高位の格付を採用しています。

※ファンドの特性の計算では、現金等は考慮されていません。

【通貨配分(%)】

通貨	為替ヘッジ前通貨配分	為替ヘッジ比率	為替ヘッジ後通貨配分
米ドル	38.7	-38.8	-0.1
カナダ・ドル	18.3	-18.1	0.2
豪ドル	14.9	-14.8	0.1
ニュージーランド・ドル	7.0	-7.0	0.0
ユーロ	0.0	0.0	0.0
英ポンド	10.6	-10.6	0.0
スイス・フラン	0.0	0.0	0.0
ポーランド・ズロチ	0.0	0.0	0.0
メキシコ・ペソ	2.7	-2.7	0.0
南アフリカ・ランド	2.1	-2.2	0.0
その他	0.0	0.0	0.0
外貨部分の合計	94.3	-94.2	0.1

為替ヘッジ後通貨配分(%)



日本円	現金等	5.7
	外貨の円に対するヘッジ比率	94.2
	日本円合計	99.9

※「為替ヘッジ前通貨配分」は、保有する債券及び現金等を基に算出されています。

※日本円の合計には、為替評価損益が含まれます。

※上記の通貨配分(%)の数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値がそれぞれの数値を足し合わせたものと一致しない場合があります。

<通貨配分の表(外貨部分)についての解説>

「為替ヘッジ前通貨配分」+「為替ヘッジ比率」=「為替ヘッジ後通貨配分」

(「為替ヘッジ前通貨配分」と「為替ヘッジ比率」を加えたものが「為替ヘッジ後通貨配分」となります。)

「為替ヘッジ後通貨配分」がプラスの場合: その通貨が円安になれば基準価額に対してプラス要因となり、円高になればマイナス要因となります。

「為替ヘッジ後通貨配分」がマイナスの場合: その通貨が円高になれば基準価額に対してプラス要因となり、円安になればマイナス要因となります。

「為替ヘッジ後通貨配分」がゼロの場合: その通貨の変動は、基準価額に殆ど影響を及ぼしません。

【為替ヘッジコストの概算(%)】

為替ヘッジコスト(年率)	1.3
--------------	-----

※為替ヘッジコストは、作成基準日現在の各通貨の短期金利(3ヵ月物)と日本の短期金利(3ヵ月物)の差を各通貨のヘッジ比率により加重平均し、年率換算した理論上の概算値であり、実際のヘッジコストとは異なります。

出所:ブルームバーグのデータを基にベアリング投信投資顧問が作成。

# BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン

追加型投信／海外／債券

為替変動リスクを管理する世界債券運用

(4/7ページ)

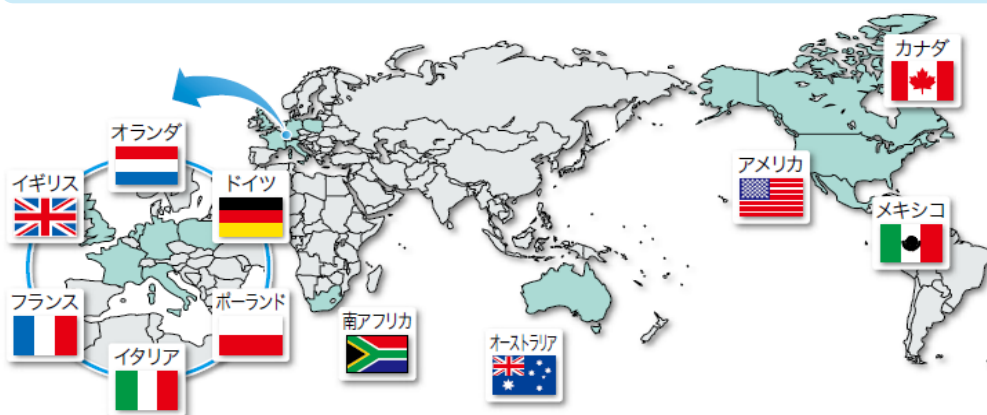
## ファンドの特色

- 1 主として日本を除く世界の投資適格債を投資対象とし、インカム・ゲインの確保と信託財産の安定的で長期的な成長を目指します。なお、金利変動リスクの管理のため債券先物取引を活用することがあります。
- 2 ポートフォリオ全体の平均格付けは、原則として「A」格以上に維持します。ただし、純資産総額の20%を上限として、非投資適格債および新興国の債券に投資することがあります。
- 3 円ベースで、国内債券インデックス(NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合))を上回るリターンを目指します。
- 4 為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、為替を総合管理します。
- 5 当ファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド(英国法人)に運用指図に関する権限を委託します。

[詳細は投資信託説明書(交付目論見書)にてご確認ください]

### 【投資対象は日本を除く世界の公社債】

主として日本を除く世界の投資適格債を投資対象とし、インカム・ゲインの確保と信託財産の安定的で長期的な成長を目指します。



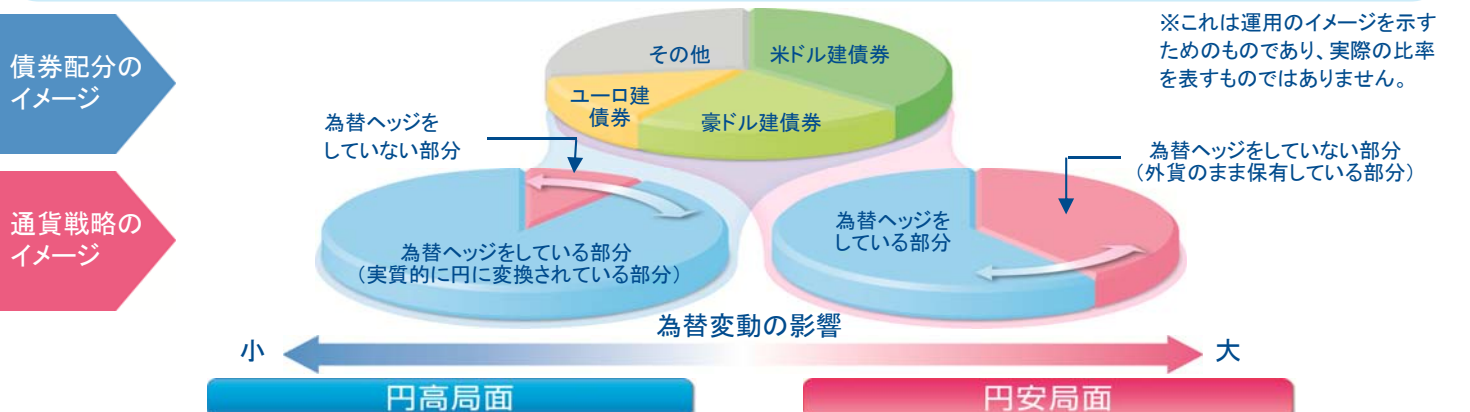
平均格付けを「A」格以上に維持する安心感の中、非投資適格債および新興国の債券も組み込むことで、利息収入の底上げもできる強みを兼ね備えています。

※左記は投資対象国の一例です。これら全ての国々へ投資するわけではありません。また、左記に表示されていない国へも投資する場合があります。投資対象国は、組入有価証券の価格変動や投資方針に基づく保有銘柄の変更などにより変動します。

### 【為替変動リスクの管理】

為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、為替を総合管理します。

- 債券と通貨を分けて運用します。
- 各通貨の中長期的な見通しに基づいて、通貨毎に為替ヘッジの判断を行います。
- ◆ 各通貨の運用に際しては、保有している債券の時価評価額を超える為替ヘッジ取引を行うこともあります。
- ◆ 債券を保有していない国の通貨についても、為替予約取引を行うことがあります。



※これは運用のイメージを示すためのものであり、実際の比率を表すものではありません。

中長期的に円高が予想される局面においては、全体的に為替ヘッジ比率を高め、為替変動リスクの低減を目指します。

中長期的に円安が予想される局面においては、全体的に外貨の保有比率を高め、為替からの収益の獲得も目指します。

※市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。





# BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン

追加型投信／海外／債券

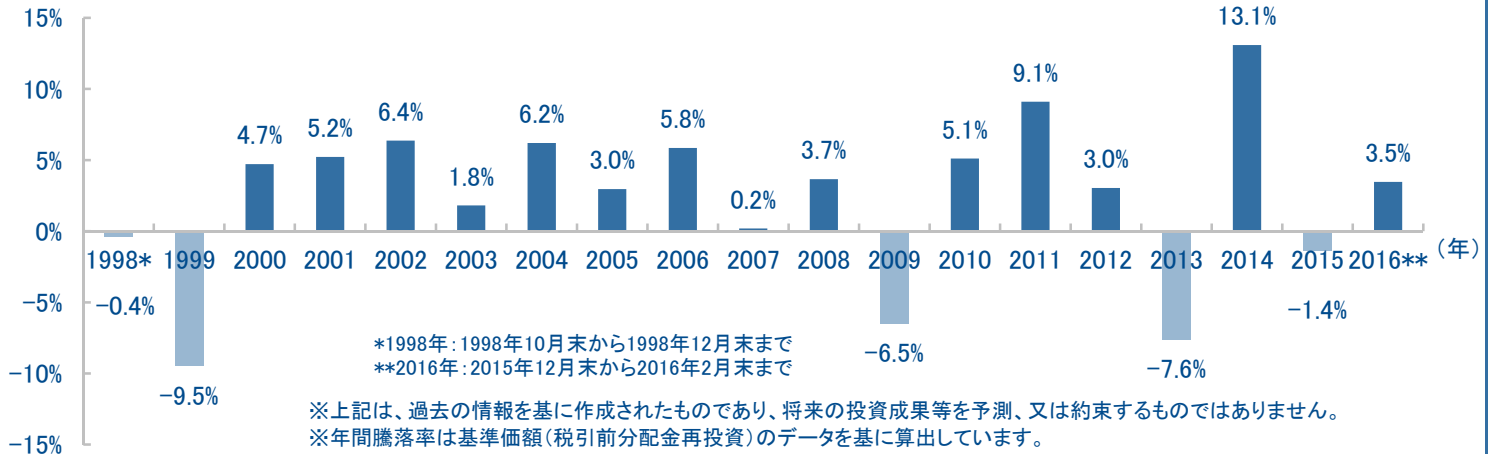
為替変動リスクを管理する世界債券運用

## 過去の実績

### 【ファンドの年間騰落率の推移】

(1998年10月末～2016年2月末)

17年を超える運用実績

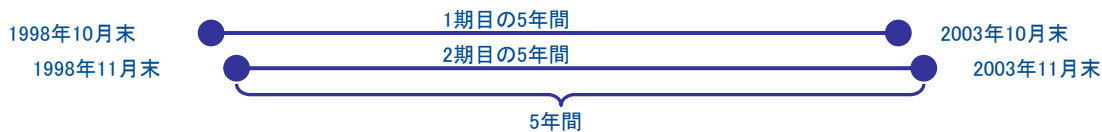


### 【ファンド設定来の各投資期間ごとの平均騰落率】

(1998年10月末～2016年2月末)

	1年間	3年間	5年間	10年間
平均騰落率(年率換算)	2.8%	3.0%	3.0%	2.9%
上昇期間数	143	160	149	89
下落期間数	54	13	0	0
最大騰落率	15.6%	25.6%	28.8%	47.7%
最小騰落率	-10.6%	-2.9%	2.1%	20.1%

「平均騰落率」(年率換算): 当ファンドに一定期間投資した場合の騰落率を平均して年率換算した値のことで、5年間投資した場合では平均3.0%(年率換算)となっています。1998年10月末から2003年10月末までの5年間、次に1998年11月末から2003年11月末までの5年間といった様に、ファンド設定月の月末から5年間の投資期間を1ヵ月ずつずらした149期間の騰落率の平均値です。



- 「上昇期間数」: 149回のうち上昇した期間(騰落率がプラスになった期間)は149回ありました。
- 「下落期間数」: 149回のうち下落した期間(騰落率がマイナスになった期間)はありませんでした。
- 「最大騰落率」: 最もリターンが高かった5年間の騰落率のことで、2005年9月末までの5年間で28.8%でした。
- 「最小騰落率」: 最もリターンが低かった5年間の騰落率のことで、2013年12月末までの5年間で2.1%でした。

※表の数値は基準価額(税引前分配金再投資)のデータを基に算出しています。  
 ※上記分析結果は、あくまでも過去のものであり、将来の投資成果を、予測あるいは保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 収益分配金の支払いは、ファンドの純資産総額(信託財産)から行われますので、収益分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、収益分配金は、計算期間中に発生した経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等を超過して支払われる場合があります。
- 投資者の取得価額(個別元本の状況)によっては、支払われる収益分配の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

**BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン**

追加型投信／海外／債券

**為替変動リスクを管理する世界債券運用**

(6/7ページ)

**当ファンドにかかる手数料等について****【ご投資者が直接的に負担する費用】**

ご購入時手数料	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>1.08% (税抜1.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	信託財産留保額はありません。

**【ご投資者が信託財産で間接的に負担する費用】**

運用管理費用 (信託報酬)	当ファンドの日々の純資産総額に対し <b>年1.674% (税抜1.55%)</b> の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	監査費用、有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※手数料等諸費用の合計額については、お申込金額およびご投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**お申込メモ** ※2016年4月7日に信託終了となりますので、新規購入のお申込みの受付は中止させて頂いております。

設定日	1998年10月30日
信託期間	2016年4月7日まで。
決算日	毎年1月、4月、7月、10月の各20日(休業日の場合は翌営業日)。
お申込日	毎営業日にお申込みできます。なお、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
ご購入単位	10口以上1口単位。
ご購入価額	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
ご購入代金	販売会社が指定する期日までにお申し込みの販売会社にお支払いください。
収益分配	年4回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。
ご換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金価額	ご換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
ご換金代金	原則としてご換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※当ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。 ※課税の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 ※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

**委託会社、その他関係法人**

委託会社	ベアリング投信投資顧問株式会社 信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)および運用報告書の作成等の業務を行います。 委託会社の連絡先: 投信営業部 電話番号: 03-3501-6381(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページ: <a href="http://www.barings.com/jp">http://www.barings.com/jp</a>
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社) 信託財産の保管・管理等の業務を行います。
販売会社	受益権の募集の取扱い、一部解約の実行請求の受け付け、収益分配金・償還金・一部解約金の支払い等の業務を行います。
投資顧問会社	ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド(英国法人) 委託会社より運用指図に関する権限の委託を受け、信託財産の運用指図を行います。



# BAMワールド・ボンド・アクティブ・オープン

追加型投信／海外／債券

為替変動リスクを管理する世界債券運用

(7/7ページ)

## 当ファンドにかかるリスク

当ファンドは世界の公社債など価格の変動する有価証券等に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります）ので、基準価額は変動します。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。したがって、**ご投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。ご投資者の皆様におかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえお申込みくださいますよう、お願い申し上げます。**

当ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。詳細は投資信託説明書（交付目論見書）にてご確認ください。

### ◆公社債市場リスク（金利変動リスク）

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により公社債相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因になります。また、ファンドが保有する個々の銘柄の公社債については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

### ◆為替変動リスク

外貨建資産に投資を行いますので、外国為替相場の変動の影響を受ける為替変動リスクがあります。為替レートは各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大きく変動することがあります。各国通貨の円に対する為替レートの動きに応じて、当ファンドの基準価額も変動します。

### ◆信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品および各種派生商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品および各種派生商品の価額が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

### ◆カントリー・リスク

投資対象国・地域において政治、経済および社会情勢の変化により金融・証券市場が混乱した場合、当ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。エマージング債券（新興国債券）の場合、一般に先進国の公社債と比べて格付けが低いいため、デフォルト（公社債の元利金の支払遅延ならびに支払不履行）の生じる可能性が高いと言えます。また市場規模や証券取引量が小さいこと、また特有のリスク（政治・社会的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの高い変動、外国への送金規制等）が想定されます。

### ◆解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約資金を手当てするために保有有価証券を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や取引量等の状況によって当ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

### ◆その他のリスク

市況動向等に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準となったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、当ファンドの投資方針に基づく運用ができない場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込みおよび一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、ならびにすでに受け付けた取得申込みおよび一部解約の実行の請求の受け付けを取り消すことがあります。

※当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

## 販売会社一覧

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）等のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
安藤証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第1号	○			

※上記の表は、ベアリング投信投資顧問株式会社が作成基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から、細心の注意を払い作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

### 【当資料に関してご留意頂きたい事項】

当資料は、ベアリング投信投資顧問株式会社（金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第396号、一般社団法人投資信託協会会員、一般社団法人日本投資顧問業協会会員）（以下、「当社」）が作成した販売用資料で、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、当社が信頼できる情報源から得た情報等に基づき作成していますが、内容の正確性あるいは完全性を保証するものではありません。当資料に掲載した運用状況に関するグラフ、数値その他の情報は作成時点のものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。当資料に含まれる個別銘柄は、その売買を推奨するものではありません。投資信託は株式・公社債等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には、為替変動リスクもあります）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。運用によりファンドに生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）等を、あらかじめ、または同時にお渡し致しますので、必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。